

2012年7月30日

岩泉線（茂市～岩泉）について

東日本旅客鉄道株式会社

2010年7月31日に押角～岩手大川間で発生した土砂崩壊により、岩泉線は全線で運転を見合わせ、バスによる代行輸送を行っております。

この災害を受け、社外の有識者を中心とした「岩泉線土砂崩壊災害原因調査検討委員会」による全線の安全性評価等を行った結果、今回と類似した大規模な岩盤崩壊や、列車の運行に影響のある大きな落石の恐れのある箇所が多数存在することが判明しました。

この委員会での安全性評価に基づき、当社として列車の安全運行を確保するために必要な方策を検討した結果、安全対策に少なくとも約130億円という多額の費用が必要であることが明らかとなりました。

一方、岩泉線をご利用になるお客さまは年々減少しており、当社発足時と比べ約4分の1にまで減少し、大変少ないご利用状況となっております。

こうした状況に鑑み、岩泉線を鉄道として復旧することは断念せざるを得ず、バスにより地域の交通を確保していくという結論に立ち至り、2012年3月30日に発表いたしました。

当社といたしましては、沿線の皆さまに、当社がこの結論に至った経緯をご理解いただきたいと考え、ご説明を行っております。今後も引き続き、十分なご説明と協議を丁寧に行ってまいりたいと考えております。

詳細につきましては、以下の資料をご覧ください。

記者会見資料（2012年3月30日） [PDF/1MB]

<http://www.jreast.co.jp/press/2011/20120316.pdf>

沿線の皆さまへのご説明資料 [PDF/1.71MB]

http://www.jreast.co.jp/railway/pdf/iwaizumi_course.pdf

2012年7月25日の岩泉線存続強化促進期成同盟会におけるご説明資料を掲載